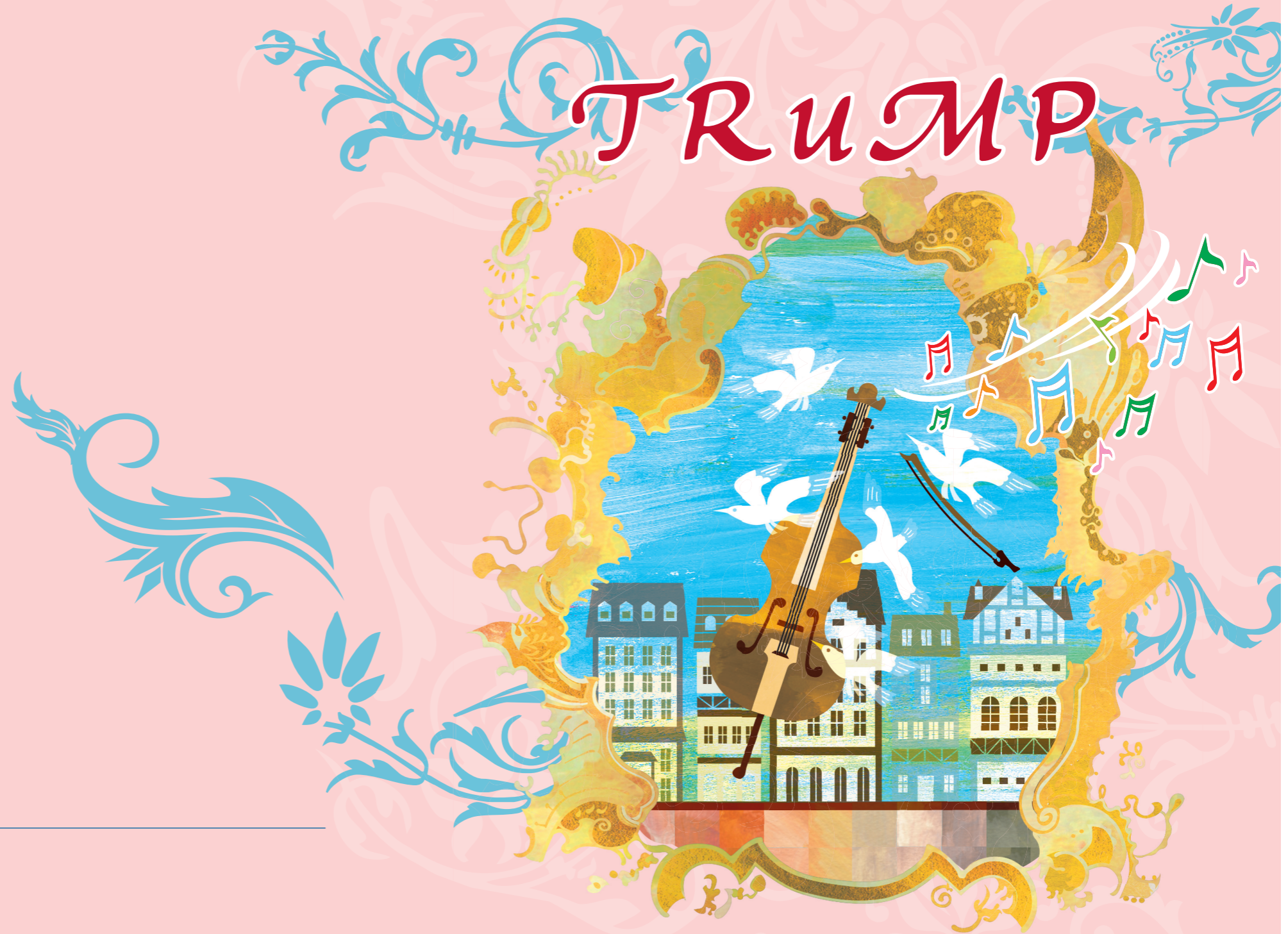


TRUMP



〈Next Concert〉

2018年10月28日(日)

J.S.Bach ミサ曲口短調

指揮 青木 洋也 合唱指導 藤崎美苗

かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

合唱 京葉混声合唱団 TRuMP

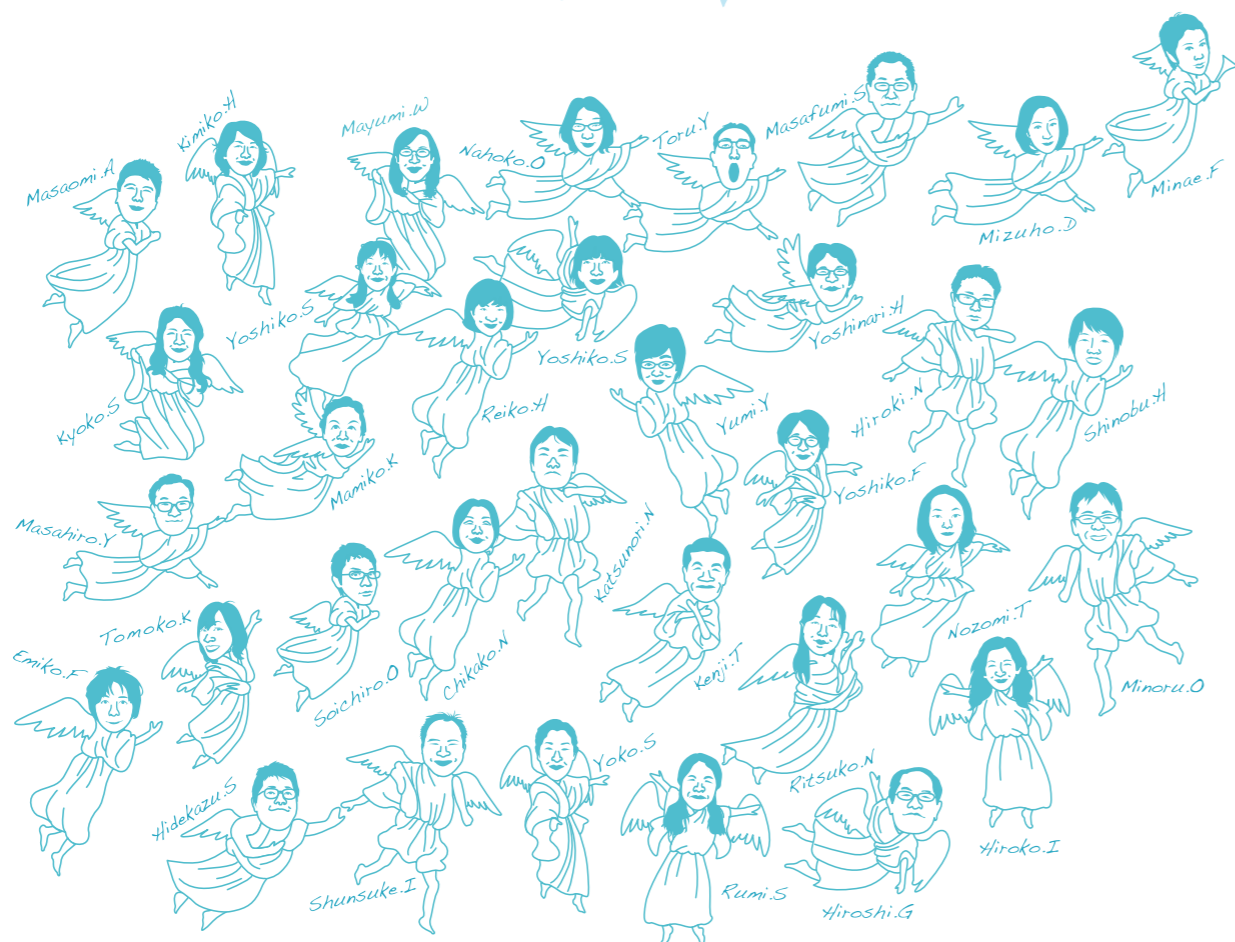


5th concert ~ 我が喜び ~

指揮 藤崎美苗

2017年7月9日 ㊥

14時開演 / 13時30分開場 トップアンホール



ご挨拶

今日はTRuMP第5回演奏会によるお出で下さいました。
今年も年初から何かと騒がしいことの多い毎日ですが、私達は音楽とりわけ合唱は、何よりもみんなで作り上げるという素晴らしい力を持っていて何にも負けないという信念をもって活動しております。
この力で何とか心の平穏を共有できれば、私たちの日常ももっともっと豊かになるのではないのでしょうか。

今回のメインステージは、バッハのモテット3番です。

更に、プーランクの女声・男声・混声というステージも組んでみました。

恒例の小アンアンプルでは、フランスの中世の世俗曲を勿論フランス語で歌います。

また、沢山の皆様のご要望を受けて、初めて邦人作品武満徹にも挑戦致します。合唱経験のある方々にとってはいずれも口にしたこともある曲ばかりですので、私たちのプレッシャーも大きいものがありますが、TRuMPサウンドが奏でられたら嬉しい限りです。

TRuMPは早いもので5回目の演奏会を迎えることが出来ました。

今年は、団名のせいか何かと話題になることが多いのですが、相変わらず楽しく歌って楽しく飲むのモットーを貫いておまして、毎回の練習そしてアフターは相変わらず笑い声が絶えません。

また、団員の要望の曲を取り上げることに躊躇しない美苗先生の方針も、他の団体にはない特徴かしれません。

これからも皆様のご支援をバックに、また新しいステージに進んでいこうと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

本日はご来場頂き誠に有難うございました。

< PROGRAM >

- I 翼** 武満 徹
○と△の歌
島へ
さくら
小さな空
- II Tant que vivray** Claude de Sermisy
花咲く日々に生きる限り クロード・ドゥ・セルミジ
Tresves d'amours Clement Janequin
わたしはさかさまのこゝろを得た(恋のなやみ) クレマン・ジャヌカン
Il est bel et bon Pierre Passereau
うちの亭主は男前でお人よし ピエール・パスロー
- III Ave verum corpus** Francis Poulenc フランシス・プーランク
アヴェ・ヴェルム・コルプス
Ave Maria
アヴェ・マリア
Laudes de Saint Antoine de Padoue
パドヴァの聖アントニウスの賛歌
Salve Regina
サルヴェ・レジーナ
- 休憩 ——
- IV Panis Angelicus** (ソプラノ独唱) C.Franc
天使の糧 セザール・フランク
Suiten für Violoncello solo (チェロ独奏) J.S.Bach
無伴奏チェロ組曲 ヨハン・セバスチャン・バッハ
- V Jesu, meine Freude / BWV227** J.S.Bach
イエスよ、わが喜び ヨハン・セバスチャン・バッハ

プロフィール



指揮 藤崎 美苗

岩手大学教育学部卒業、東京藝術大学声楽家卒業、同大学院修士課程独唱専攻修了、同大学院古楽科に学ぶ。第10回友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて第2位入賞。声楽家として宗教曲、ドイツリートを中心に活躍している。鈴木雅明氏指揮バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして公演や録音に参加し、《マタイ受難曲》公演等でソリストを務める。声楽

アンサンブル「小瑠璃」メンバー。また5人の声楽アンサンブル「Bless B Quintet」でCDをリリースしている。

京葉混声合唱、湘南ファイルヒェン、ミルフィーユ、アンサンブルマルディ指揮者。志木第九の会、東京スコラカントールム、ノヴァ・ヴォーチェ各ヴォイストレーナー。



オルガン 土居 瑞穂

東京芸術大学古楽科卒業。同大学院を修了。チェンバロを鈴木雅明氏に師事。東京芸術大学助手を務める。

チェンバロ、オルガンの通奏低音奏者として、講座や音楽祭、NHK「FMリサイタル」、レコーディング等に参加。

日本チェンバロ協会会員。



チェロ 黒川 正三

東京芸術大学卒業、安宅賞受賞。同大学院修士課程修了。ウィーンへ留学。78年より東京フィル団員、82年副首席、91年首席となり2015年任期満了まで勤めた。母校にて後進の指導、イソ弦楽四重奏団を経て95年フィルハーモニーカンマーアンサンブル結成、活発に活動している。

「サラサーテ」に「チェリストのための基礎講座」連載中。

MEMBERS

ソプラノ

飯野 弘子
清水 洋子
末續 淑子
鈴木 京子
鈴木 美子
中阪 理津子
畑 忍
平永 玲子
古瀬 笑子
矢野 由美
鷺田 まゆみ

アルト

小田 奈穂子
菊池 万美子
小林 朋子
酒井 留美
竹内 望
長尾 知加子
平野 公子
藤本 叔子

テノール

荒川 将臣
板谷 俊祐
大塚 宗一郎
小田 稔
佐良土 雅文
富塚 憲治
羽賀 義成

バス

後藤 洋
宗万 秀和
長崎 寛貴
中山 勝則
矢野 通
山崎 正弘



解 説

武満 徹 (1930-1996) は戦時中たまたま耳にしたシャンソンに衝撃を受けて作曲家を志すようになり、戦後、フランス音楽やジャズに親しみながら独学で作曲を学びました。多くの器楽曲で世界にその名を知られている武満ですが、一方で彼の原点とも言うべきくうたも数多く作曲しています。

本日歌われる曲は、東京混声合唱団の委嘱によって、武満が自作のくうた及び古謡の「さくら」を無伴奏混声8部合唱曲に編曲したものです。「翼」は1982年西武劇場で上演された劇「ウィングス」の主題曲として作られ、翌年歌詞が付いて石川セリによってCD録音されました。「○と△の歌」は羽仁進監督の映画「不良少年」(1961年)の主題歌、「島へ」は1983年NHKドラマ「話すことはない」の挿入歌として作られました(使われませんでした)。「小さな空」は1962年TBSラジオで毎夕放送されたドラマ「ガン・キング」の主題歌でした。「翼」「○と△の歌」「小さな空」は歌詞も武満自身によるものです。

各曲には意匠を凝らした複雑な和声が付けられていますが、優しさと懐かしさに満ちた武満のくうたの世界は損なわれることなく、新たな魅力を備えた編曲となっています。

クロード・ドゥ・セルミジ (1490頃-1562仏) は16世紀フランスの代表的なシャンソン作曲家の一人で、叙情的な作風を特徴とします。素朴な旋律にホモフォニックな和声をつけた「**Tant que vivray (花さく日々)**」は彼の代表作で、当時の人々に愛唱され、器楽用にも編曲されて親しまれたようです。

クレマン・ジャヌカン (1485頃-1558仏) も16世紀の代表的なシャンソン作曲家で、多様なスタイルで250曲ほどのシャンソンを作っています。鳥の鳴き声を精妙に真似た「鳥の歌」が特に有名です。本日歌われる「**Tresves d'amours (恋の苦しみ耐えかね)**」は、ポリフォニーによる、しっとりとした情感をたたえた小品です。

ピエール・パスロー (1509-47仏) はパリを中心に活躍した歌手ですが、20曲余のシャンソンも作曲しています。「**Il est bel et bon (うちの亭主はお人好し)**」は彼の代表作で、近所どうしのおかみさんたちのおしゃべりを、鶏の鳴き声も交えてユーモアたっぷりに表現しています。

フランシス・プーランク (1899-1963仏) は軽妙洒落な作風の歌曲や器楽曲で知られる作曲家ですが、宗教曲においても優れた作品を残しています。女声3部のための「**Ave verum corpus**」(1952年)は、全音階的な旋律がポリフォニックにゆったりと歌われる部分、流れるような旋律と精緻な和音が交替する部分、再び最初の部分という3つの部分がわずかに28小節の中で展開しています。「**Ave Maria**」(1955年)は、フランス革命期に殉教した修道女たちを描いたオペラ「カルメル会修道女の対話」の第2幕で、修道女たちによって歌われる、悲しくもたいへん美しい曲です。

無伴奏男声合唱のための「Laudes de Saint Antoine de Padoue(パドヴァの聖アントニウスの賛歌)」(1957-59)は、13世紀にパドヴァで活躍したフランシスコ会の聖人アントニウスへの賛歌で、「おおイエス」「おおスペインの子」「聖なる王」「もし望むなら」の4曲から成ります。

プーランクの無伴奏合唱曲としては最後の作品で、どの曲も短いながら洗練された和声がつけられ、書法のシンプルさと相まって忘れ難い印象を与えます。

無伴奏混声合唱のための「Salve Regina」(1941)は、ト短調というはっきりした調性を持つホモフォニックな曲で、途中唯一の長調であるト長調を皮切りに短調での転調を繰り返しながら聖母への願いを歌った後、ト短調に戻ってこの上なく優しく清らかに「おお甘美なるおとめマリアよ」と歌って終わります。

セザール・フランク (1822-90 仏) はパリのサント・クロティルド教会のオルガニストを務める一方、パリ音楽院でオルガン教授としてショーンソンやデュパルクらを育て、作曲家としては多くのオルガン作品のほか、有名な「ヴァイオリン・ソナタ イ長調」や「交響曲二短調」などを作っています。「**Panis angelicus(天使の糧)**」(1872年)は1860年作曲の「3声のミサ曲」の一部として作られた、テノール独唱とハープ、チェロ、オルガンのための曲です。本日はチェロの伴奏によるソプラノ独唱です。

ヨハン・セバスチャン・バッハ (1685-1750) は、ケーテンの宮廷楽長時代(1717-23)に「ブランデンブルク協奏曲」や「平均律クラヴィア曲集」など数多くの器楽曲の傑作を書きました。6番まである「**無伴奏チェロ組曲**」もその頃の作品で、それぞれの組曲はプレリュードと、5つの舞曲から成っています。「**第1番ト長調**」は、16分音符の音型が途切れることなく和音を変えながら進んでいくプレリュードがよく知られています。そして舞曲のアルマンド、クーラント、サラバンド、メヌエット、ジークが緩急をつけて続きます。

バッハの「**Jesu, meine Freude (イエスよ、我が喜び)**」は、ヨハン・フランク作詞ヨハン・クリューガー作曲の17世紀の代表的なコラールに基づいた、11曲から成るモテットです。真ん中の第6曲を挟んで前後が対称となるように作られており、歌詞は奇数番の曲にはコラールの第1節から第6節までが、偶数番の曲には新約聖書のローマの信徒への手紙8章-1&4,2,9,10,11節が用いられています。対となる曲を比べてみると、**第1・第11曲**は歌詞のみが異なるほぼ同一のコラール。**第2・第10曲**は、音楽的には同じホモフォニックな部分とフーガの部分でできた5声の曲ですが、前者が楽節の繰り返し等で長大になっているのに対し、後者はその半分の長さです。**第3・第9曲**はコラールの旋律だけは同じですが、まったく異なる音楽です。**第3曲**は声部が増え(Sop.II)、旋律をこれまでと同様に歌うSop.I以外の声部は、サタン・雷・稲妻・地獄といった強い言葉に呼応して、コラールの構造内で装飾的に動いています。一方**第9曲**はSop.I・Sop.II・Ten.の3声が静かに淡々と繰り返し広げたいへん美しい音楽に、Altoが時折コラールの旋律を切れ切れに挟み込むという構造になっています。**第4・第8曲**は、前者が女声3声によるト短調の静かで短い曲なのに対し、後者はAlto・Ten.・Bas.の3声がハ長調で明るく軽やかにフーガを繰り返し広げます。**第5・第7曲**は、前者が歌詞のみコラールで音楽は5声の自由なアリアであるのに対し、後者は基本的な4声のコラールの枠内でSop.Iが旋律を歌い、他の3声は第3曲よりもっと自由に動いています。**第6曲**は、生き生きとしたメリスマが特徴の5声のフーガが展開した後、アダージョになって終わります。(酒井留美)

訳詞

II ステージ

Tant que vivray

【花咲く日々生きる限り】

花咲く日々生きる限り
わたしは仕えよう、力強い王たる愛(の神)に。
行いと言葉と歌と調和において。

(愛の神は)幾日も私を哀れな状態にひきとどめた。
それからあとで私を喜び溢れる状態にした。
というのも私は素敵な肢体の美女の愛を得ているのだから。

彼女の結びつき、それは私の信ずるところ。
彼女の心は私のもの、私のそれ(心)は彼女のそれ(心)
悲しみよさらば、幸せばんざい。
というのも愛には、すてきなものがこれほどたくさんあるから。

Tresves d'amours

【わたしはさかさまのこを得た(恋のなやみ)】

わたしは自分の望んでいることとはさかさまのこを得た。
わたしは偽りの喜びに変えてしまったのだ、失うことをあれほど恐れていた楽しみをすべて。
わたしは心が張り裂けそうなほどの痛みを感じている、恋が壊れてしまったために。

わたしの苦しみは大きく、かつ秘められている。
希望もなく失われてしまったわたしの幸福をわたしは惜しむ、前はしじゅう精神を満足させてくれていた幸福を。
わたしは心が張り裂けそうなほどの痛みを感じている、恋が壊れてしまったために。

Il est bel et bon

【うちの亭主は男前でお人よし】

*あの人、男前でお人よしなのよ、奥さん、あの人、男前でお人よしなのよ、奥さん、奥さん、うちのダンナって。

二人の女がいた、二人とも同じ地方の女だ。片方がもう片方に言った、いいダンナさんをお持ちね。

*あの方はあたしを怒らせないし、ぶつたりもしない、家事もやるのよ、鶏にえさをやってくれる、だからあたしは遊んでいられるのよ。

奥さん、おもしろいのよ、鶏がこんな風に叫ぶときがあるんだから浮気女、浮気女、浮気女、浮気女、って。どういふことかしらね?
*

III ステージ

Ave verum corpus

【アヴェ・ヴェルム・コルプス】

幸いなるかな、真の御身体、おとめマリアより生まれたキリストよ。私たち人間のため、まことに苦しみを受け、十字架の上で犠牲になりました。

Ave Maria

【アヴェ・マリア】

めでたしマリア、恵みに満ちた方よ。主はあなたと共におられます。あなたは女たちの中で祝福されたお方、またあなたの子、イエスも祝福されています。聖なるマリア、神の母よ、罪深い私たちのため、今も死を迎える時もお祈りください。
アーメン。(中島万紀子)

Laudes de Saint Antoine de Padoue

【パドヴァの聖アントニウスの賛歌】

1. おおイエス

おおイエス、永遠の光、アントニウスを通し多くの栄光の証しを与えてくださいました。私たちのあなたへの賞賛も永遠に止むことはありません。

おおイエス、永遠の光、あなたを敬います。私たちの心に、感謝の油に満ちたランプを持たせてください。

信仰の輝きとあなたへの愛を失わせることがなく、この世界での働きを全うし、天の父が迎えてくださる時まで消えることのないランプを。

2. おお、スペインの子よ

おおスペインの子よ、幸いなるアントニウスよ、不誠実を恐れ、イタリアの新しい光となるパドヴァの高貴な証人よ!

神の恩寵を伝えよ、アントニウスキリストの保護のもと受けた神の恩恵は、信仰の時は短くとも流れ落ちることはないことを。

3. 聖なる王

喜びに満ちた、誉め称えられるべき王、戦いの報いとしてアントニウスに自分自身を

投げ出します。

アントニウス、選ばれた人よ、あなたは以前からそうであったように、この地でもキリストの眼差しの元、おおいなる祝福を受けました。

パドヴァに与えられる名誉を予言し、その大きな恵みにより、この地は神の恩寵に乾くことはありません。

天の父と子と共にあるあなたを通じて、私たちの汚れた罪が浄められますように。
アーメン。

4. もし奇跡を望むなら

もし奇跡を望むなら、死、不安、災難、悪魔、病を避けてはならない。それらはあなたの健康を脅かします。

しかし平穏な海のように、手足の枷は外れ、老いも若きも失ったものを取り戻すでしょう。

危険は去り、必要なものは与えられます。それを知るパドヴァの言葉が語り継がれますように。

心安らかに。

父と子と聖霊に栄光あれ。

心安らかに。

私たちのために祈ってください。幸いなるアントニウス。

アーメン。

訳詞

Salve Regina

【サルヴェ・レジーナ】

幸いなるかな、お后様よ。
あわれみ深い母よ。
私たちの命、慰め、希望よ、幸いなるかな。
私たちはあなたに向かって叫びます。
ため息をつき、うめき、
涙を流し、嘆きます。
いざ、私たち私たちを助けてくださるお方よ、
憐れみ深い目を私たちに向けてください。
またあなたの身体から
祝福されて生まれでたイエスを、
私たち流浪の者に示してください。
おお寛容、おお慈悲、
おお甘きおとめマリアよ。

IV ステージ

Panis angelics

【天使の糧】

天使のパンが人々のパンとなり
天上のパンは形あるものとなった
ああ、なんたる不思議
憐れな者、しもべ、卑しき者たちに
天は自らを糧として与えられた

V ステージ

Jesu, meine Freude / BWV22

【イエスよ、わが喜び】

1. コラール

イエスよ、私の喜び
私の心の牧場、
イエスよ、私の誉れ
ああ、なんと長く、ああ長く
心は不安におののき
あなたを慕い求めてきたことでしょう。

神の小羊、花婿よ
あなた以外に、私はこの地で
愛しいものは何一つありません。

2. 合唱

いまや、いかなる罪にも定められること
はない。
イエス・キリストによって結ばれているものは、
彼らは肉によって生きるのではなく
霊によって生きる。

3. コラール

あなたの庇護のもと、
私はあらゆる敵の嵐から守られている。
サタンよ、吼えろ、
敵よ、去れ。
イエスは私たちの側立って助けてくださる。
たとえ天が轟き、稲妻が走り、
たとえ罪と地獄が脅かそうとも
イエスが私をかくまおうとしてくださる。

4. 三重唱

それは霊の立法。
つまりイエス・キリストによって命を得て
私を解放したからである。
罪と死の立法から。

5. 合唱

逆らえ、いにしえの竜に、
逆らえ、死の深淵に、
逆らえ、死の恐れに。
荒れ狂え、世界よ、砕け散れ。
私はここに立って悠々と歌う。
神の力が私を護るだろう。
地と地獄は沈黙するだろう。
たとえ吼えたとていても。

6. フーガ

あなたたちは肉によって支配されるので
はなく、

霊によって支配される者です。
神の霊があなたたちの中に宿っている
なら、
キリストの霊を持たない者は、
キリストのものではない。

7. コラール

去れ、全ての宝よ
あなたこそ、私の楽しみ。
イエスよ、私の喜び。
去れ、虚しき栄光よ。
私はお前たちのことを
聞きたくも、知りたくもない。
不幸、苦しみ、十字架、恥辱、死
たとえどんなに
苦しまなくてはならないとしても
イエスから私を引き離すことはでき
ない。

8. 三重唱

しかしキリストがあなたたちの中にいるなら
たとえ身体が罪のために
死んだものであっても
霊は義のため命となっている。

9. 四重唱

おやすみなさい、この世に存在する
ものよ
世界が選び出したものよ
お前が私を喜ばせることはない。
おやすみなさい、数々の罪よ
はるか彼方に留まって
二度と姿を見せてはいけない。
おやすみなさい、虚栄と虚飾よ、
悪に染まった生よ
十分な眠りが与えられますように。

10. 合唱

いま霊が、
イエスを死から蘇らせた霊が、

あなたたちの中に宿っているなら、
キリストを蘇らせたこのお方が、
あなたたちの死ぬべき身体も生かして
くださる。
そのために、霊はあなたたちの中に宿って
いるのです。

11. コラール

消え去れ、悲しみの霊よ
私の喜びの主が、
イエスが入ってくるのですから。
神を愛する人には
お前たちの味わう悲しみも
甘いものになるに違いない。
私がこの世で嘲りや侮辱に耐えていても
あなたは苦しみの中でも変わらず、
イエスよ、あなたこそ、私の喜び。

(藤崎美苗)